

参 考

1 合計特殊出生率について

(1) 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A 期間合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の合計特殊出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B コーホート合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の合計特殊出生率」である。

- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

- ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計であるBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

(2) 平成30年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した^{*)}。

例えば1979～1983年生まれ（平成30年における35～39歳の世代）の39歳までのコーホート合計特殊出生率は1.44であり、平成30年の期間合計特殊出生率（1.42）を上回っている。

*) 各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和63年 (1988)	平成5年 (1993)	平成10年 (1998)	15年 (2003)	20年 (2008)	25年 (2013)	平成30年 (2018)
母の年齢	1.66	1.46	1.38	1.29	1.37	1.43	1.42
15～19歳	0.0187	0.0183	0.0225	0.0280	0.0256	0.0221	0.0153
20～24	0.2618	0.2119	0.1942	0.1892	0.1846	0.1555	0.1328
25～29	0.7972	0.6283	0.5278	0.4490	0.4379	0.4298	0.4038
30～34	0.4693	0.4667	0.4732	0.4333	0.4719	0.5016	0.5118
35～39	0.0987	0.1198	0.1485	0.1678	0.2133	0.2677	0.2895
40～44	0.0103	0.0130	0.0173	0.0227	0.0329	0.0486	0.0609
45～49	0.0003	0.0003	0.0005	0.0006	0.0008	0.0013	0.0017

② 各世代(コーホート)別にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1969-1973	1974-1978	1979-1983	1984-1988	1989-1993	1994-1998	1999-2003
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.0187	0.0183	0.0225	0.0280	0.0256	0.0221	0.0153
20～24	0.2119	0.1942	0.1892	0.1846	0.1555	0.1328	
25～29	0.5278	0.4490	0.4379	0.4298	0.4038		
30～34	0.4333	0.4719	0.5016	0.5118			
35～39	0.2133	0.2677	0.2895				
40～44	0.0486	0.0609					
45～49	0.0017						
コーホート 合計特殊出生率	1.46	1.46	1.44	1.15	0.58	0.15	0.02

③ コーホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1969-1973	1974-1978	1979-1983	1984-1988	1989-1993	1994-1998	1999-2003
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02
15～24	0.23	0.21	0.21	0.21	0.18	0.15	
15～29	0.76	0.66	0.65	0.64	0.58		
15～34	1.19	1.13	1.15	1.15			
15～39	1.41	1.40	1.44				
15～44	1.45	1.46					
15～49	1.46						

注：「15～19歳の世代」は平成11～15年生まれ、「20～24歳の世代」は平成6年～10年生まれ、
「25～29歳の世代」は平成元～5年生まれ、「30～34歳の世代」は昭和59～63年生まれ、
「35～39歳の世代」は昭和54～58年生まれ、「40～44歳の世代」は昭和49～53年生まれ、
「45～49歳の世代」は昭和44～48年生まれ。